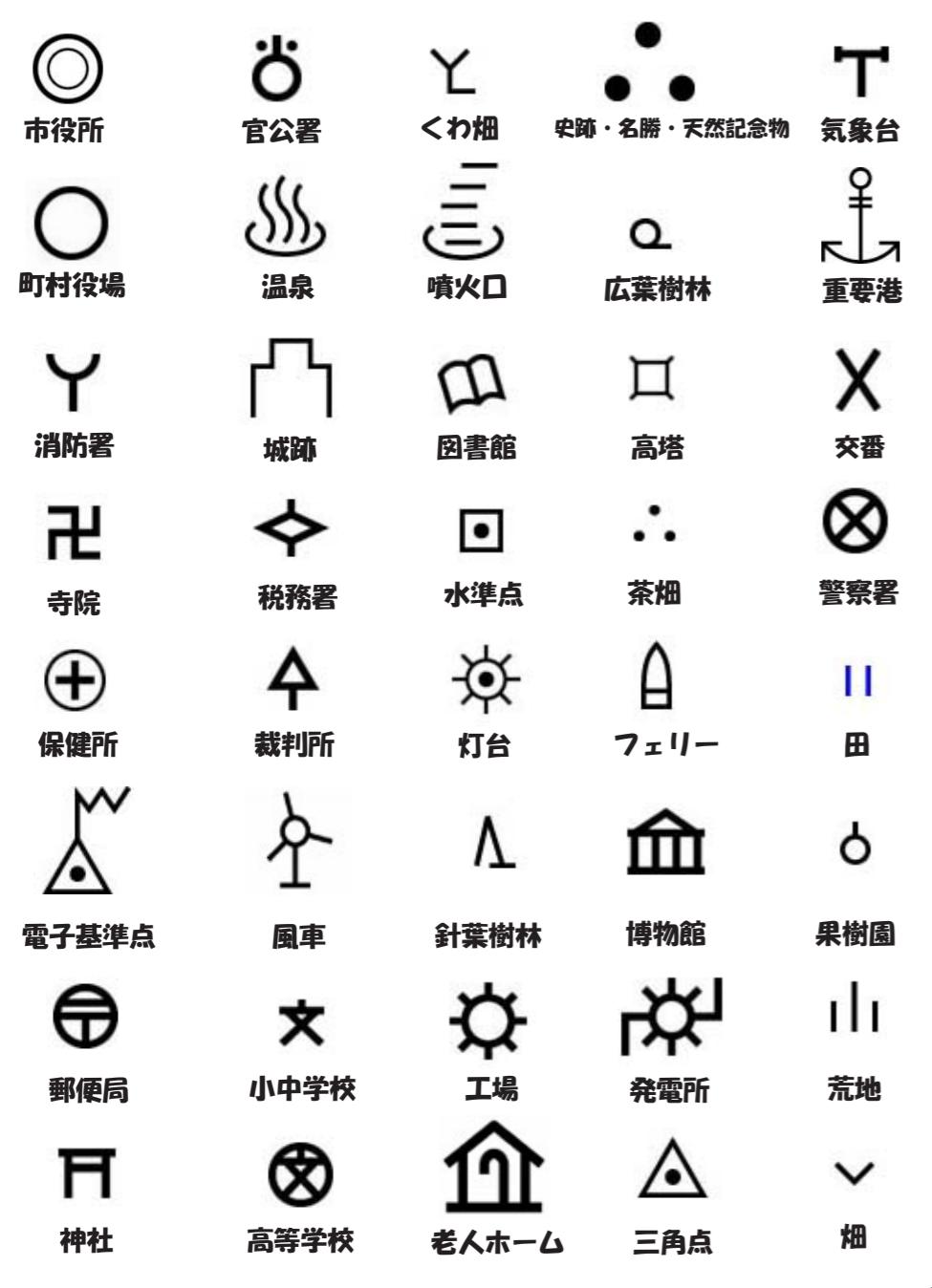
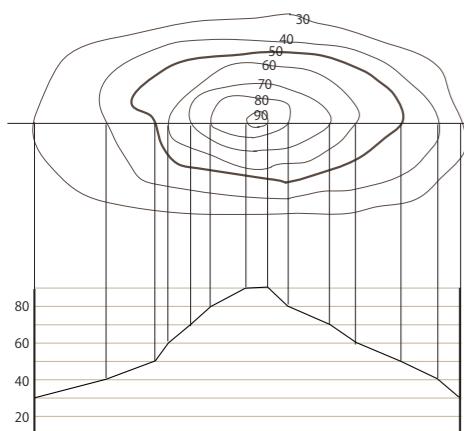


地図記号を覚えよう

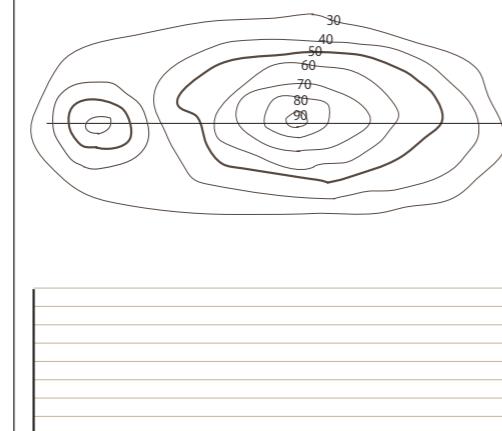


等高線と断面図

等高線は5万分の1の地形図では20mおきに、
2万5千分の1の地形図では10mおきに引かれています



断面図を書いてみよう



地形図の読みとり方

尾根と谷

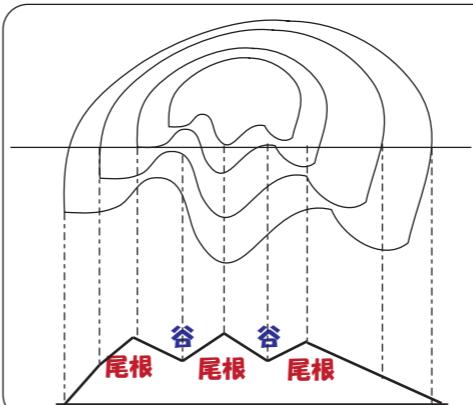
尾根・・・まわりより高くなっているところ

谷・・・まわりより低くなっているところ

手の甲で考えると



等高線で考えると



このように等高線から
断面図をいくつか書いていくと

出っ張りを結んだ線が（赤線）が尾根で
へこみを結んだ線（青線）が谷であることがわかる。

縮尺の計算問題

ポイント①単位に気を付ける！ $1\text{km}=1000\text{m}$ $1\text{m}=100\text{cm}$

ポイント② $1:25000$ と $\frac{1}{25000}$ と2万5千分の1は同じ意味

①実際に2kmの距離は2万5千分の1の地図では何cmになるか

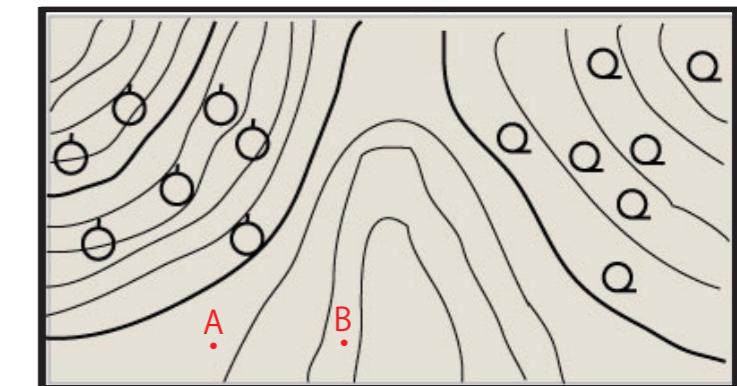
②実際に5kmの距離は5万分の1の地図では何cmになるか

③2万5千分の1の地図での2cmは実際には何kmになるか

④5万分の1の地図での3cmは実際には何kmになるか

入試問題にチャレンジ

図1



(1) 図1の地図から読み取れることで正しく述べて
いるものをア～エの中から1つ選びましょう。

- ア 東側は西側に比べて傾斜がゆるやかで広葉樹林が広がっている。
- イ 東側は西側に比べて傾斜がゆるやかで針葉樹林が広がっている。
- ウ 西側は東側に比べて傾斜がゆるやかで広葉樹林が広がっている。
- エ 西側は東側に比べて傾斜がゆるやかで針葉樹林が広がっている。

(2) 図1は25000分の1の地図である。A地点から
B地点まで定規で測ったところ2cmだった。実際の
A地点からB地点までの距離は何kmになるでしょう

解答

① $1:25000 = \square : 200000\text{cm}$ (2kmをcmに直して考えましょう)と比で考えます。
これを解くと $\square = 8\text{cm}$ となります。

② $1:50000 = \square : 500000\text{cm}$ (5kmをcmに直して考えましょう)これを解いて
 $\square = 10\text{cm}$ となります。

③ $1:25000 = 2\text{cm} : \square$ これを解くと $\square = 50000$ となります。
しかしこれはcmなので $50000\text{cm} = 500\text{m} = 0.5\text{km}$ が正解となります。

④ $1:50000 = 3\text{cm} : \square$ これを解くと $\square = 150000$ となります。
これをkmに直して 1.5km が正解となります。

(1) ア (2) $1:25000 = 2 : \square$ $\square = 50000\text{cm} \Rightarrow 500\text{m} \Rightarrow 5\text{km}$